

茨城新木野獣害対策協議会

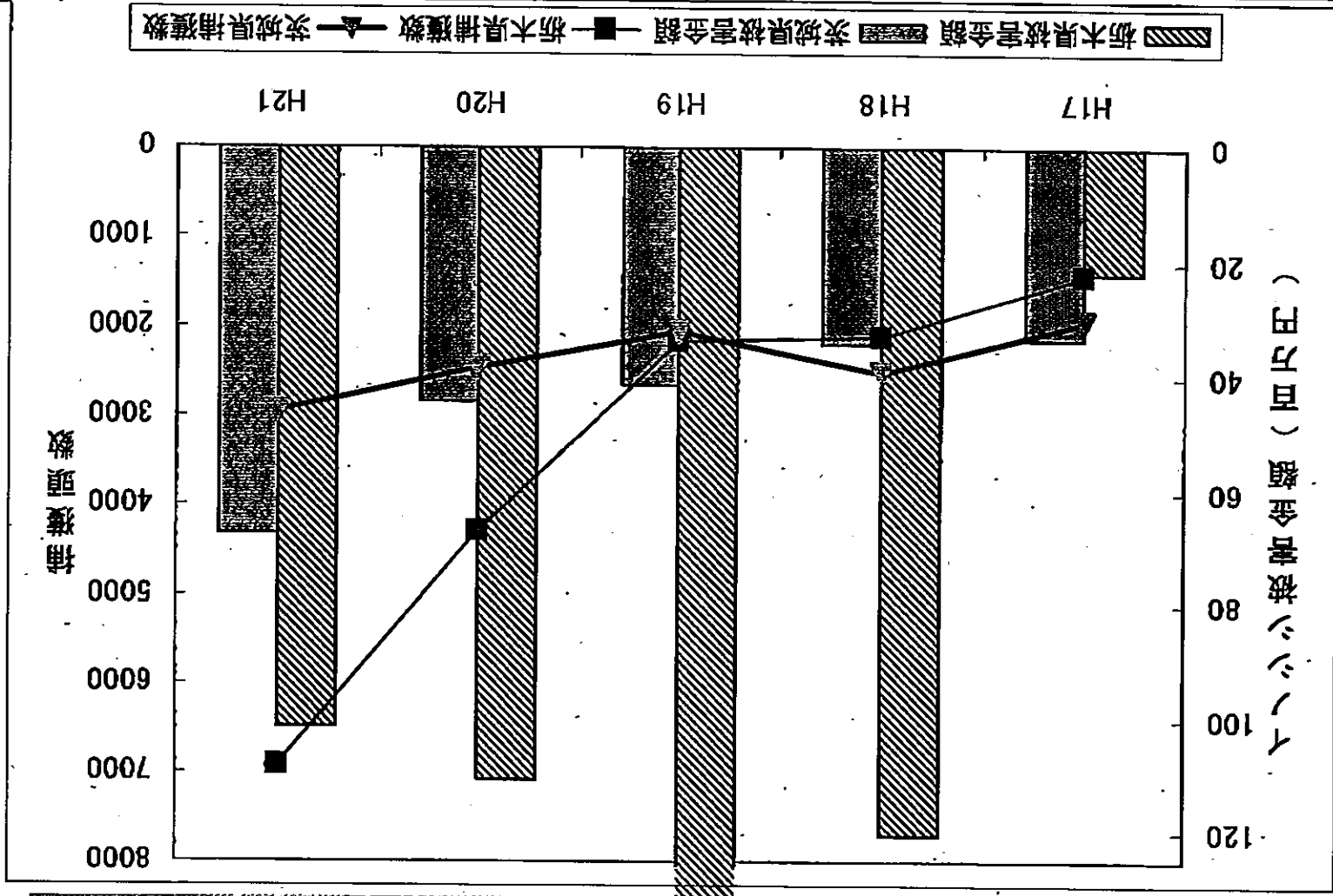
～茨城・栃木18市町が連携した鳥獣害対策～

広域連携で 鳥獣害対策！



茨城・栃木両県の イノシシ被害金額と捕獲頭数の推移

イノシシ被害金額と捕獲頭数の推移



設立経緯・目的

近年、両県でイノシシ被害が増加。イノシシ捕獲頭数も栃木県でここ数年で10倍、茨城県でもこの十年で3倍を超え、両県で同じ悩みを抱えていた。

平成18年

7月

茂木町から、茨城・栃木の県境の中山間地域の12市町を構成メンバーとして、広域の鳥獣害対策協議会設立の提案

8月

第1回茨城栃木鳥獣害防止広域対策研究会を茂木町で開催
作業部会をつくり、協議会設立を進めることに決定

9月～

3回の作業部会と2回の全体会議を開催し、協議会の規約
及び事業内容等を検討

茨城・栃木両県に接する地域の鳥獣被害を防止するため、広域で緊密に連携して
様々な取り組みを行うことを目的。全国で6例目、最大規模。

平成19年

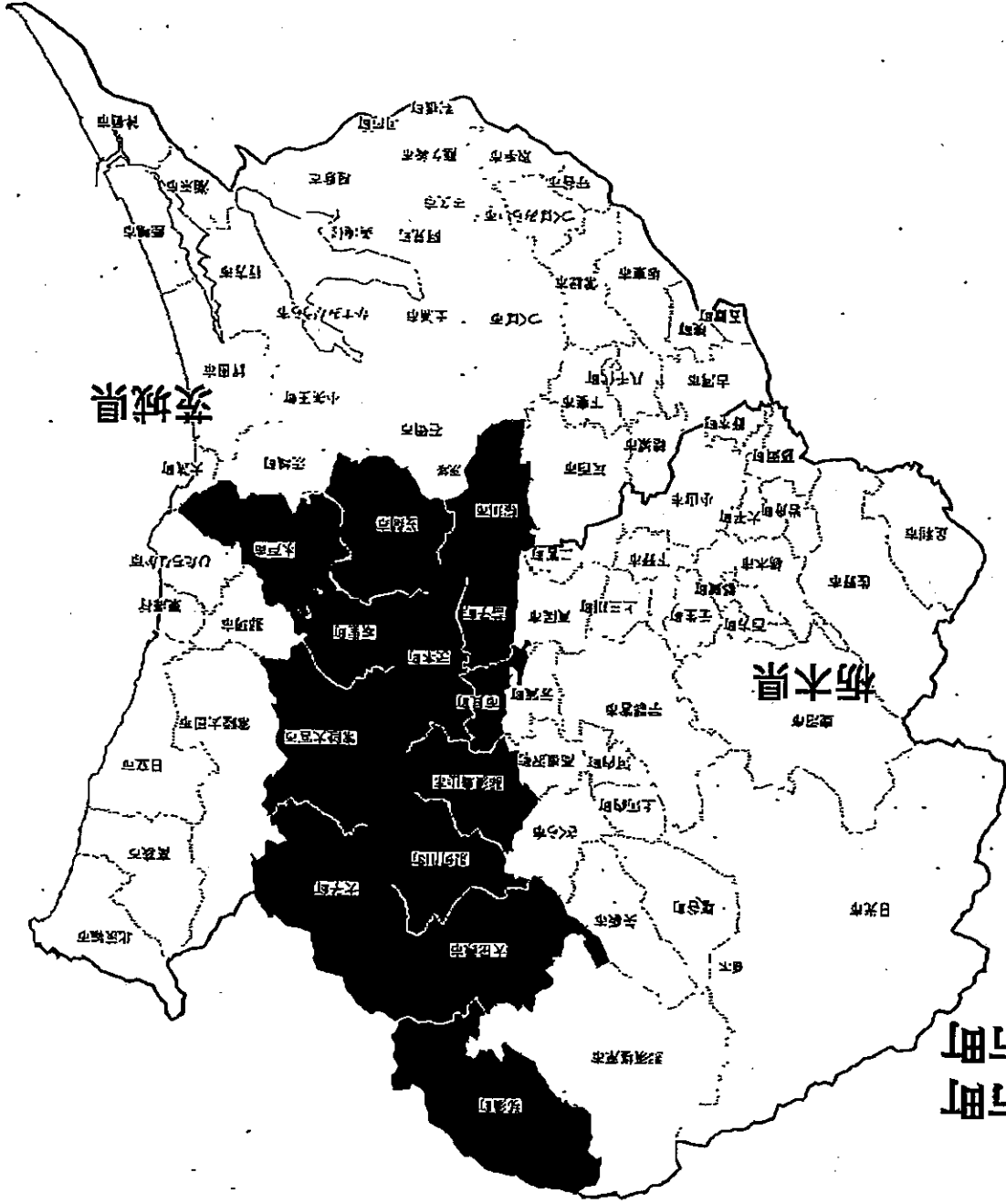
2月5日

茨城栃木鳥獣害広域対策協議会を設立（2県12市町）

平成19年度鳥獣害防止対策事業（広域連携事業）利用

総事業費1,660万円（補助1,610万円 自己資金50万円）

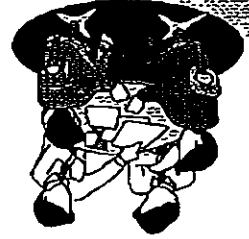
構成市町
茨城県 6市町
栃木県 7市町



茨城県

栃木県

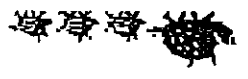
有害鳥獣捕獲体制強化プロジェクト
各親友会の交流、加盟市町一斉捕獲の実施



協議会 事業内容

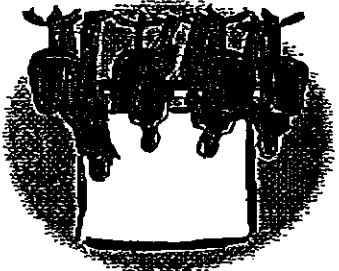
イバツン個体数調査プロジェクト

イバツンを捕獲し、個体数の調査実施



広域連携プロジェクト

事業の見直し、事業計画の作成



普及啓発プロジェクト

鳥獣害に関する講演会、普及啓発パンフレット作成



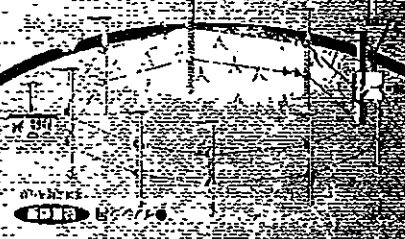
鳥獣害マップ作成プロジェクト

イバツン被害、対策、捕獲等の情報マップの作成



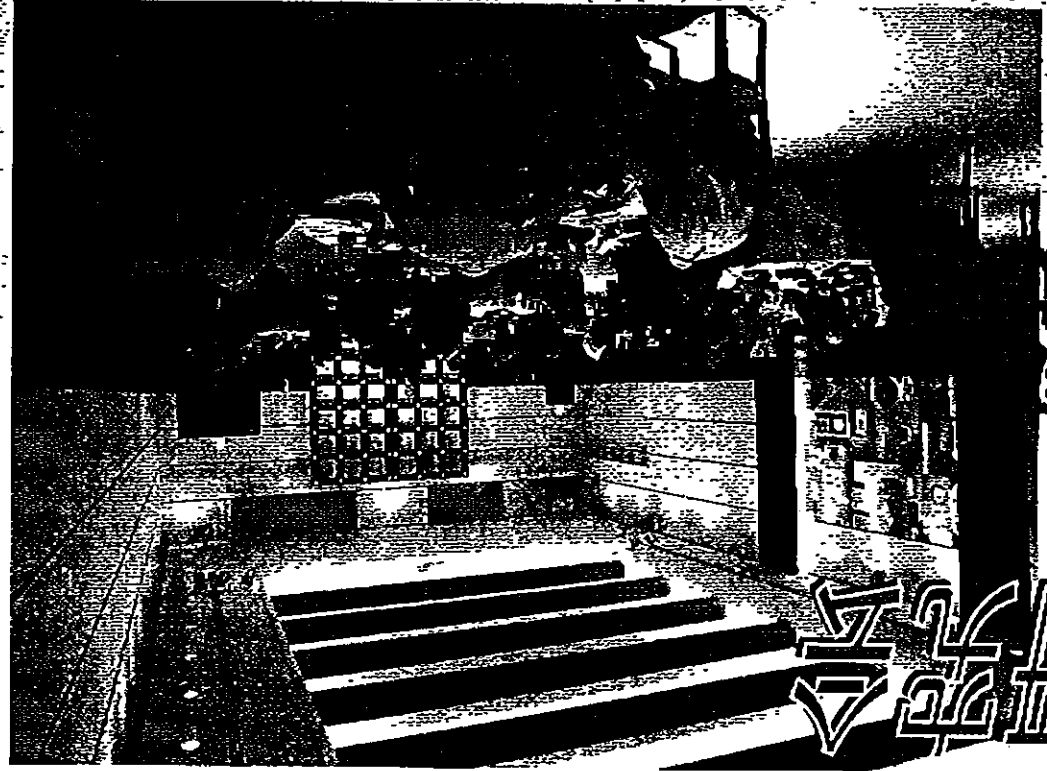
効果的な被害防止施設設置プロジェクト

防鼠網、箱罠ナ、ククリコナの試験的設置



ヤシロノ捕獲研究会

各市町猟友会メンバーが
活動の現状・課題等について



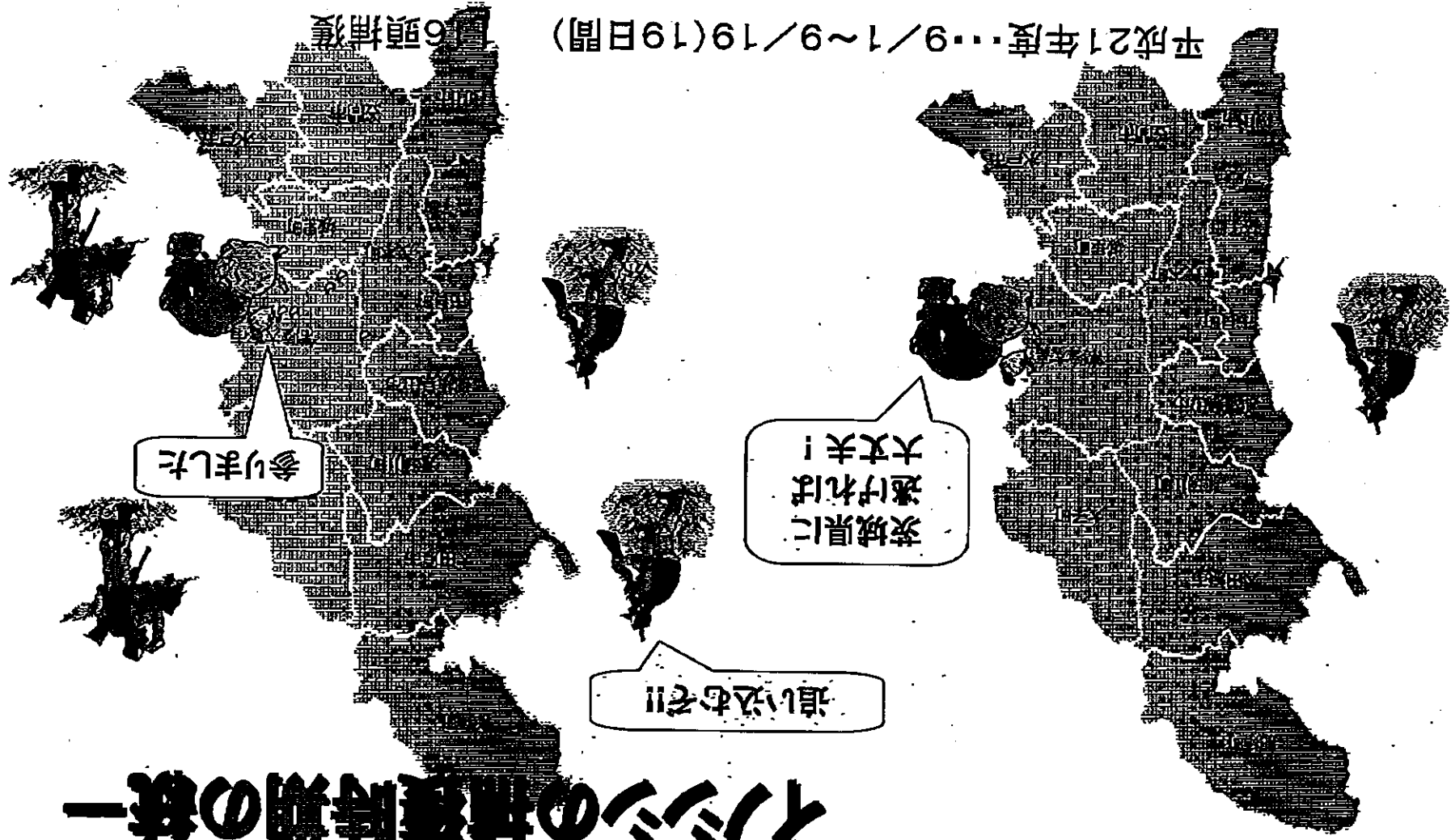
課題

- 高齢化が進み、従事者が少なくなっている。
- 誤射事故等もあるが、安全対策の徹底。
- 活動が地域住民に理解してもらえない。
- 各市町猟友会に温度差がある。

○広域協議会とは各県がそれぞれ目的が達成されていないのでは...

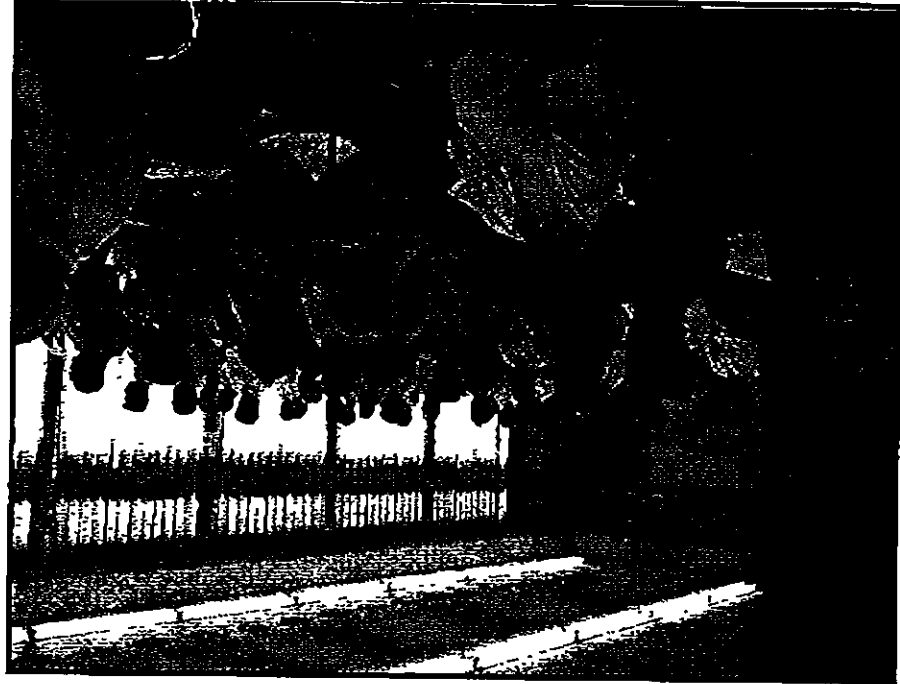
イバシの捕獲

イバシの捕獲時期の統一



住民参加型イノシシ対策講習会

「電気柵を設置したのにイノシシに入られてしまった」「被害対策はどうすれば良いの」
地域住民の方々にも参加いただき、イノシシ対策講習会を実施。

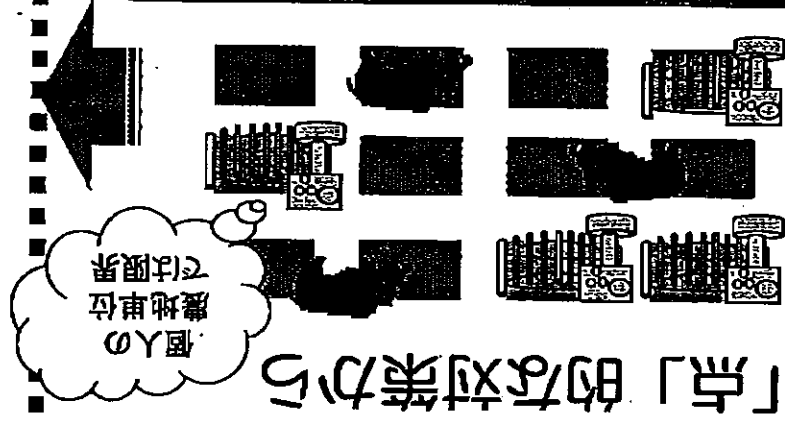


イノシシの捕獲も限界があります。「自らの農地は自ら守る」地域住民の意識改革

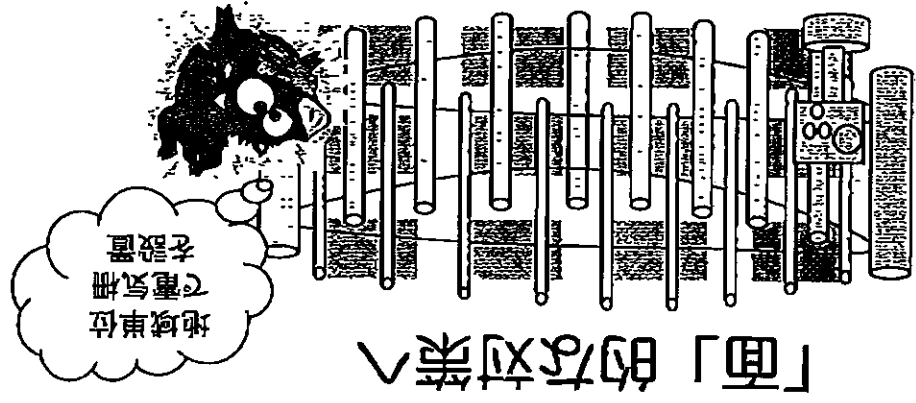


実際に被害にあったほ場で検証

広域的な電気柵の設置



◆【対策】
 電気柵の設置は農地の
 被害防止に効果的である
 ため、農地の被害防止に
 電気柵の設置を推進する

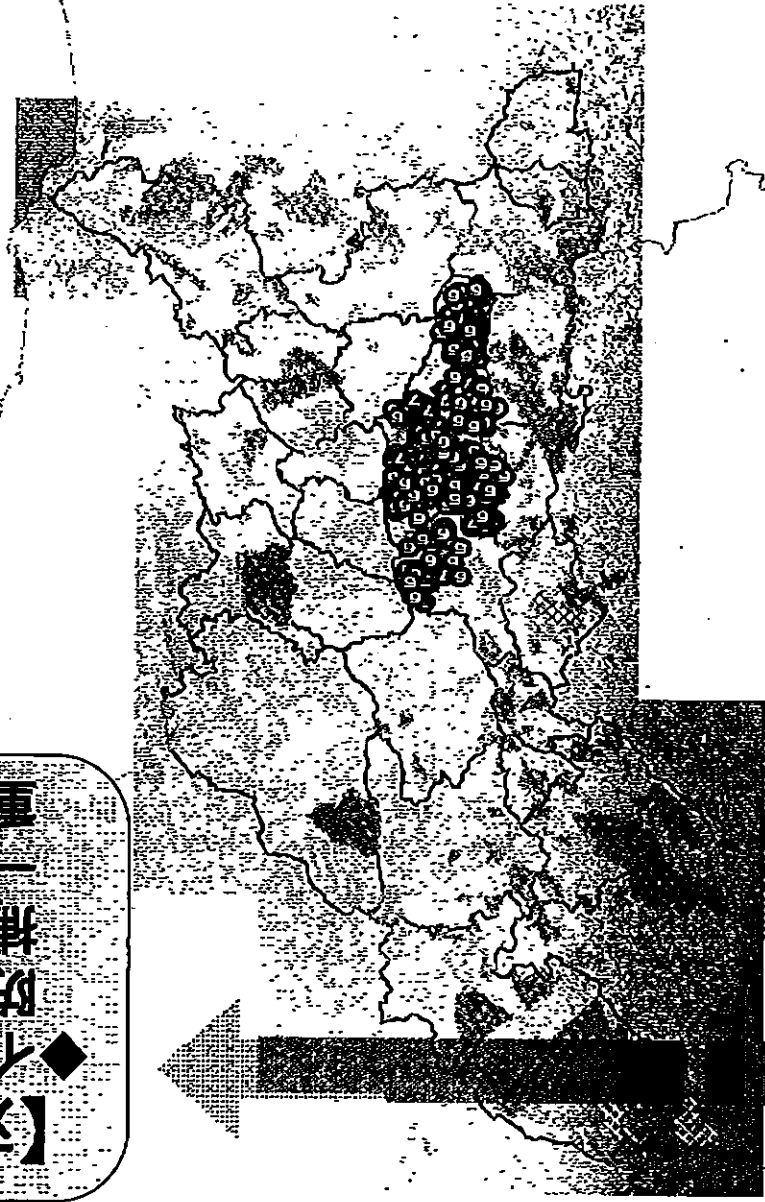


◆【対策】
 地域ぐるみで電気柵を設置、管理

This section shows an aerial view of a large fenced area, with a cat peeking over the fence. The text below reads, '◆【対策】 地域ぐるみで電気柵を設置、管理'.

GISマップ作成による検証

◆【対策】
イノシシ被害場所、
防護柵設置場所、
捕獲場所等の情報を、
GISマップに
重ねて入力し検証



（結果）
①イノシシの
被害箇所等
のGISマップ
作成による検証

～広域連携を旨として～

環境C>D
連携した広域的な取り組み
計画的な生涯教育管理
防護柵等の設置

